

在宅医療連携拠点事業

～東京都新宿区・牛込地区～

(株)ケアーズ

白十字訪問看護ステーション

統括所長 秋山 正子

急性期病院が立ち並ぶ地域で

- 医療資源が豊富な地域
- だからこそ、医療連携がしっかり行なわれないと患者・家族が困る状況
- ある癌患者の言葉

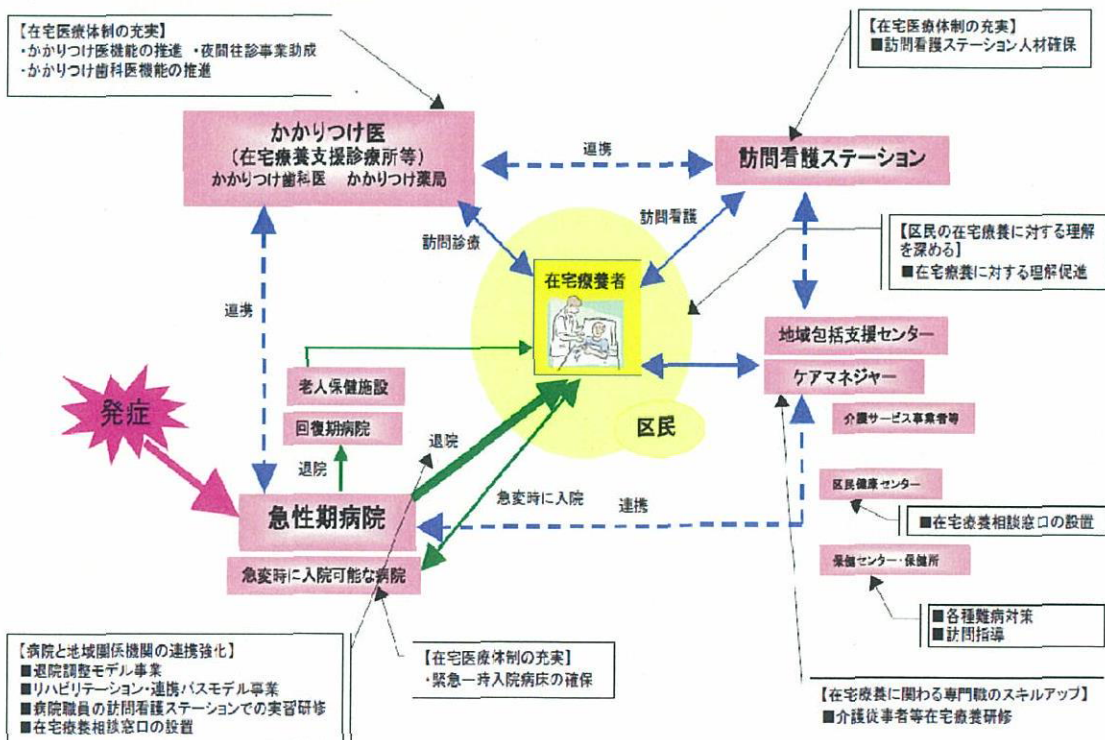
「連携・連携といって我々患者は物や、ボールじゃないんだ。丁寧に手を添えて、確実に送り届けて欲しい」情報共有といいながら、患者不在になっている現状や、パスにのみ頼った今の状況が痛烈に批判されている。

医療も含んだ相談支援の場所が 町の中にあったら

- 病院に通っているんだけど、なかなか相談し難い・ゆっくり話を聞いてもらいたい
- 入院での治療は辛いので在宅療養したい
- 「介護や福祉に関する相談」とどう区別がつくか分からず悩んでいる
- 退院するよういわれたが不安で不安で...
- がんの辛さや不安を軽くする緩和ケアを受けたい

行政との協働による地域医療連携システムへの提案

在宅療養を支えるしくみ



新宿区主催でシンポジウムを継続

- 区民のみでなく
区内で働くケアマネや
病院関係者なども
聴衆として参加

在宅療養シンポジウム
住み慣れた町で 最期まで暮らすために
 在宅で療養すること

あなたや、あなたの家族が、知らない病気になったら、親類をよって送られてしまう？
 「住み慣れたこの町で、できれば自宅で過ごしたい…」
 そんな思いを抱えたご家族に、実際の経験を話していただきます。
 また、ともに受けた「この町」の医師や看護士などの在宅医療やケアに関わる方々から、
 「この町で最期まで暮らすためのこと」について考えてみましょう。

日時 平成22年 **11月2日**
 14:00～16:30 ※13:30開場

会場 **牛込駅前市民ホール**
 (地下鉄：大江戸線「牛込駅」徒歩5分)
 A1 出口より徒歩5分
 東口南「有楽町」A2 出口より徒歩10分
 西口南「有楽町」A3 出口より徒歩10分
 (※バス：有楽町線「牛込駅」下車)

主催：新宿区



病院の中だけでは 見えてこないものがある

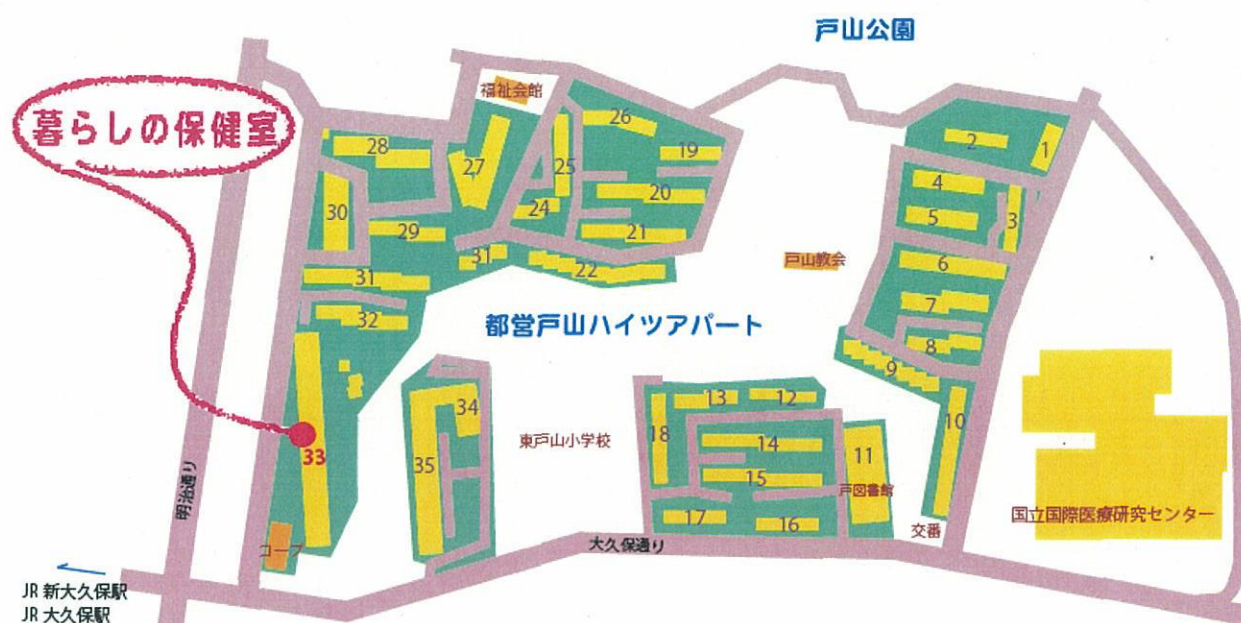
- 「生活する場」においてのがん患者の療養は、できるだけ安心して過ごし、症状を全人的に緩和できる保証が得られれば、実現可能
- 在宅緩和ケアへのスムーズな移行は病院からの退院時のみでなく、外来から、診断をした時点から始まって遅くは無い。
- 医療者への教育、のみならず、市民への在宅緩和ケアへの啓発・教育を、市民と共に行なっていく必要がある
- 病院以外の場所での相談支援のあり方もこれからは必要とされるのではないかな？

都営戸山ハイツ



約3000戸 7000人
(75歳以上 約1320名)

戸山ハイツ内マップ



都営戸山ハイツ 33号棟 1階



7月1日オープンに向け
改修工事中の風景

暮らしの保健室



暮らしの保健室

くらしのほけんしつ

2011年7月1日(金) オープン

暮らしの保健室では

- 地域にお住まいの方々の、暮らしや健康、医療、介護などの相談をお受けします。
地域の医療・介護状況を熟知した相談員（医療・介護従事者が当番で担当いたします）が、対応します。
- がん患者さんとご家族からの相談にのります。
専門家（看護師）が、がんと共に生きる方、そのご家族など周りの方々の相談に応じます。
- 病院と地域のお医者さんの橋渡しをします。
医療コーディネーターとしての機能をもち、在宅医療も理解した看護師が相談にのり、通院調整にあたります。
- 医療機関の検索ができます。
相談員が医療機関を検索し、ご紹介します。暮らしの保健室でご自分で調べること您也可以。
- 健康や暮らしに関する勉強会をひらきます。
7月4日～14日までは、毎日「戸山ハイツ 脱水・熱中症予防ミニ講演会」を開催します（参加費無料）。
その他定期的に勉強会をひらきます。
- 介護・福祉の情報を提供します。
住民の方々はもちろん、地域の診療所のお医者さんにも、介護・福祉の最新情報を提供します。
お医者さんからのさまざまなご相談にも適切に対応できる窓口をめざします。

お茶をのみながらくつろげる

地域みなさまに開かれた場所です

暮らしの保健室 所在地 ▶ 東京都新宿区戸山2-33 戸山ハイツ33号棟1F 商店街
※地図と交通は裏面をご覧ください **月～金 9時～5時（土日祝日はイベント時のみオープン）**

お問い合わせ ▶▶▶ 電話 / 03-3268-1815 e-mail / hakujuji@musa.ocn.ne.jp

誰に聞けばいいかわからない
困りごとはありませんか？

暮らしの保健室 は、地域にお住まいの方々の
暮らしや健康、医療、介護のご相談をお受けします。



お医者さんには
こう言われたけれど、
意味がよく分からない...

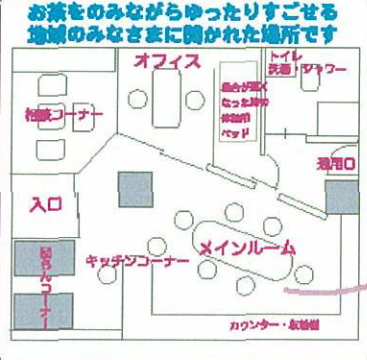
主人が退院するのだけれど
住診してくれるお医者さんは
どこにいるのかしら？

こういうことは
お医者さんに
どうやって聞けば
いいのかな？

地域の医療機関について
知りたい

- 地域の医療・介護状況を熟知した相談員（医療・介護従事者が当番で担当いたします）が、
団地にお住まいのみなさまほか、地域の方々からの**健康や生活の相談**に応じます。
- 医療コーディネーターとしての機能をもち、在宅医療も理解した看護師が相談にのり、
退院調整にあたります。
- がん患者さんとお家族の相談**にのります。
- 地域包括支援センターとも連携し、**地域のみなさまを支援する窓口**となります。
- 地域の診療所のお医者さんにも、**介護、福祉の情報を提供**いたします。お医者さんからの
さまざまなご相談に適切に対応できる窓口を目指します。

**お茶をのみながらゆったりすごせる
地域のみなさまに開かれた場所です**



お茶をのみながらゆったりすごせる
地域のみなさまに開かれた場所です

トイレ
洗面所
ロッカー

相談コーナー

入口

キッチンコーナー

メインルーム

カウンター・受付

通称口

ボランティア
スタッフが
お迎えします！

地域の医療機関の
検査コーナーも
あります

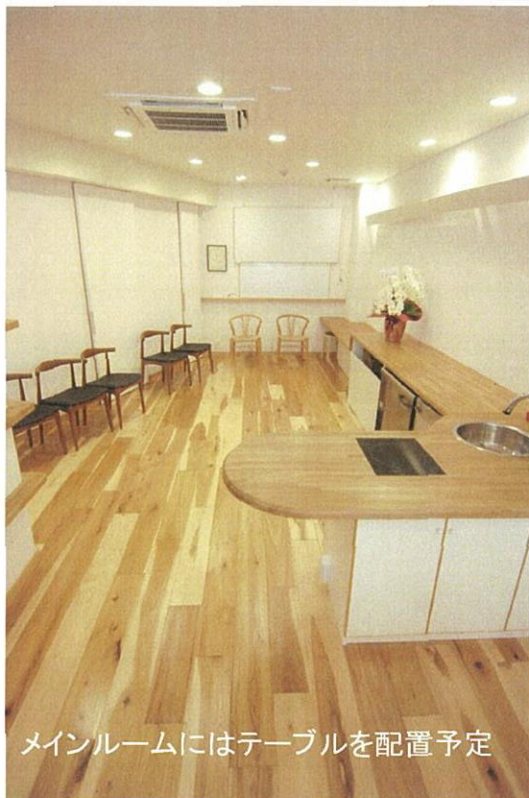
健康に関する
勉強会を開催します

暮らしの保健室
東京都新宿区戸山 2-33
戸山ハイツ 33 号棟 1F 商店街
月～金 9時～5時

薬剤師がお薬の
飲み合わせの
相談に応じます



暮らしの保健室7月1日オープン



暮らしの保健室内部(1)



暮らしの保健室内部(2)



暮らしの保健室でのミニ講座



7月3日 オープン記念講演会



多くのボランティアが協力

- 「暮らしの保健室」を始めるにあたって、地域のボランティアを募った
- 多くは、これまで在宅医療・訪問看護を利用してご家族を看取った経験のある方々。
- ボランティアが、迎え入れる暖かい雰囲気の中で、病院とは違った空間、地域の中にある場所として、相談支援体制を整えていく方針
- 地域の中の『地域力』の活用にもつながる
- 専門職が働きやすい環境づくりにも繋がる

定期的に勉強会を開催

- 月二回、火曜日の夜に連携に関するケーススタディを中心とした勉強会を開催予定
- 高齢者総合相談センターとの協力
- 各医療機関の連携室との協働
- 区民向けのシンポジウムの開催

お互いの顔が見える関係の中での 連携の推進

- 10回を重ねた「牛込地区在宅患者を考える会」の培ってきた顔が見える関係の中での、診一診連携、病一診連携、そして訪問看護との連携、薬局との連携、そのほか多職種との連携が、具体的に、実的に機能するように、今後も、連携の絆をふかめる。
- 人口約10万の牛込地区でできたことは新宿区全体に、また、都市部の他の地域にも応用が効くのではないかと考えている。

必要な情報が必要な所に届く仕組みを

- かかりつけ医の推進を、相談を受けた時に積極的に行なっていく
- かかりつけ医や、薬局の情報など、在宅医療の情報が届き易くする為のデータベース作りや、その公開の仕方を工夫し、ITの画面でも見れたり、印刷して渡せたりできるようにする
- 必要な情報がパンフレットなどでも渡せるように備える
- 医療の使い手である住民目線での連携を！